

ふかめる

分かると快感!

Z会ナビ

算数

▶理科

社会

お題

葉についた
丸いものの正体

Z会にて開講中!
おうちで楽しく!
プログラミング通信講座

クヌギの木を見ると、葉についた丸いものが見つかりました。これは何なのでしょうか。



クヌギの木といえば、雑木林に生えている、樹液が出てカブトムシやクワガタなどたくさんの中たちが集まつくる木という印象があるでしょうか。そんなクヌギの木の葉に何やら丸いものがたくさんついているのを見つけました。

大きさは3ミリ位ほどのものから、1センチ位のものまでさまざまです。これは何なのでしょうか。

クヌギの実? 虫の卵?

植物についている丸いものというと、その植物の実の可能性がありそうです。しかし、実は花のあとにできるので、葉の上にはできそうにありません。そもそも、クヌギはドングリがなる木ですので、クヌギの実はドングリです。この日もクヌギのドングリを見つけることができました。

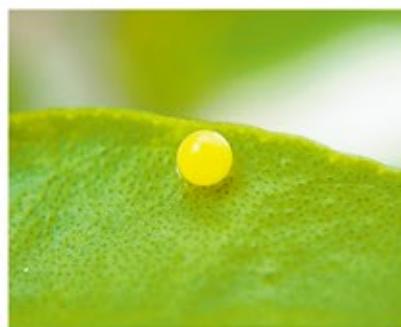


葉についた丸いものとドングリを並べてみると、大きさも見た目も全然ちがいますね。どう

やらクヌギの実ではないようです。

ところで、植物の葉には、虫の卵がついてることもよくあります。

こちらは、ミカンの仲間のキンカンの葉についたアゲハの卵です。問題の写真と似ています。



問題の写真が虫の卵だとちょっとかわいそうですが、調べるために割って中を見てみましょう。



イラスト・瑞木匠



カッターナイフで半分にしてみると、中央に小さな部屋があり、その中に白い幼虫(写真では部屋の上についています)が入っていました。卵のからにしてはかなり分厚いですし、すでにしっかりとした幼虫が入っているということは、どうやら卵というわけではなさそうです。



また、初夏にエノキの葉にできた頭のとがった虫こぶの中には、エノキトガリタマバエの幼虫が入っています。

さて、クヌギの虫こぶの周りで、小さなハチが歩いているのを見つけました。



大きさは2ミリ位ほどで、写真右の赤いものが虫こぶです。これが虫こぶを作った犯人……!

ではなく、お尻についている長い産卵管で虫こぶの中に卵を産み、虫こぶの中にいる幼虫に寄生して育つオナガコバチの仲間でした。

クヌギの葉に寄生して育つ小さなハチに寄生して育つ小さなハチ、ということです。1センチにも満たない小さな世界にも、とても複雑な関係があるのです。

(Z会・鳥越賢)



食物連鎖にもさまざまなかたちがあります。



たとえば、ヨモギについたこの白いフワフワしたのも虫こぶで、ヨモギワタタマバエというハエが卵を産むことでできたものです。



鳥越賢さん 2010年Z会入社。小学生向けの理科の教材編集を担当。生き物が好きで、生き物の写真投稿サイト「日本まるごと生き物図鑑」を運営。